



働くということ

11月23日は「勤労感謝の日」です。さまざまな登場人物の姿をととして「働く」ことを考えてみませんか。

『ファーストペンギン シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡』 坪内知佳／講談社



若きシングルマザーが漁獲量が先細る田舎の漁村で、漁師とともに新しいビジネスを立ち上げるまでの道のりを綴った1冊。地方ならではの排他性や偏見、ときには仲間の漁師とも戦いながら、「漁業の常識を変える」夢へと突き進む姿はドラマ化もされました。

『これだれの？』

みやこしあきこ／ブロンズ新社



絵本の見開きいっぱい描かれる道具の数々から「これだれの？」と考えてみましょう。さまざまな職業の洋服や道具が紹介されています。あなたがなりたいお仕事はあるでしょうか？ 家族で「大きくなったら何になる？」と話しながら、読み聞かせしてみるのもおすすめです。

今月の新着図書

一般書 ● 『本のある空間採集』 政木哲也／学芸出版社 ● 『宗教が変えた世界史』 祝田秀全／朝日新聞出版 ● 『おいしいもんには理由がある』 土井善晴／ウェッジ ● 『自律神経の科学』 鈴木郁子／講談社 ● 『でいすべる』 今村昌弘／文藝春秋 ● 『いまこそガーシュウィン』 中山七里／宝島社

『神様からひと言』

荻原浩／光文社



大手広告代理店を辞め、再就職先でもトラブルを起こしリストア要員収容所と恐れられる「お客様相談室」へ異動となった主人公。個性豊かな人々に囲まれながら「お客様は神様」とクレーム処理に奔走する日々をユーモアを交えて描いた1冊。

『こども手に職図鑑 AIに取って代わられない仕事100』 誠文堂新光社



「汎用AI」が登場するとされる2045年。そのころ大人になっている皆さんに向けて「将来性があり、長く続けられAIに取って代われない」現代の手に職100種を掲載。定番から数年前にはなかった職業まで、働く人のインタビューをもとで紹介した図鑑。

児童書 ● 『へんしんやきいも』 あきやまだし／金の星社 ● 『こどもおこのみしょくどう』 きうちかつ／福音館書店 ● 『パンドロぼうとほっかほっかー』 柴田ケイコ／KADOKAWA ● 『もぐらけんせつ』 長崎真悟／童心社 ● 『12歳から始める人見知りしない技術』 鳥谷朝代／秀和システム ● 『おはなしゲゲの鬼太郎』 水木しげる／講談社

おはなし会を開催します

— 3会場とも午前10時30分から行います —

● 加悦分室…11月11日(土)、12月9日(土) ● 野田川分室…11月25日(土)、12月3日(日)

● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087
● 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



がんばってます！消防団

編集 ● 本部

いざという災害に備えて 親子で楽しく学ぶ防災

● 与謝野町消防防災フェア2023



10月22日、加悦中学校において「与謝野町消防防災フェア2023」を開催しました。与謝野町消防団発足以来2年に一度開催していた「消防防災フェア」。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できていませんでしたが、今回、4年ぶりに開催することができました。

当日は、気持ちの良い秋晴れのもと、親子連れの来場者を中心ににぎわいました。屋内では、住宅火災警報器の設置推進やLPガスの安全についての啓発、災害時救助資機材の紹介展示。また、救急コーナーでは、消防団員の指導による心肺蘇生やAEDの体験コーナーも開設しました。キッズコーナーとして、災害時に必要なことを学びながら楽しめる防災カルタやぬり絵、



折り紙など、子どもたちは楽しみながら消防に触れる機会となりました。

駐車場では、起震車による地震体験・煙体験・消火体験などのブースを設け、多くの方に災害を体験していただきました。消防車と救急車の展示コーナーは子どもたちに大人気で、未来の消防団員らが展示車両に目を輝かせていました。

- ① 消火体験をする子どもたち
- ② 防災カルタを楽しむ親子
- ③ 消防署員に消火時の管槍(かんそう)を持たせてもらう子ども
- ④ 高所作業車の乗車を体験する子どもたち
- ⑤ 防災カードゲームに参加する親子

